

# 健保は 厳しい財政のなか 健康につながる事業を 大切にしています



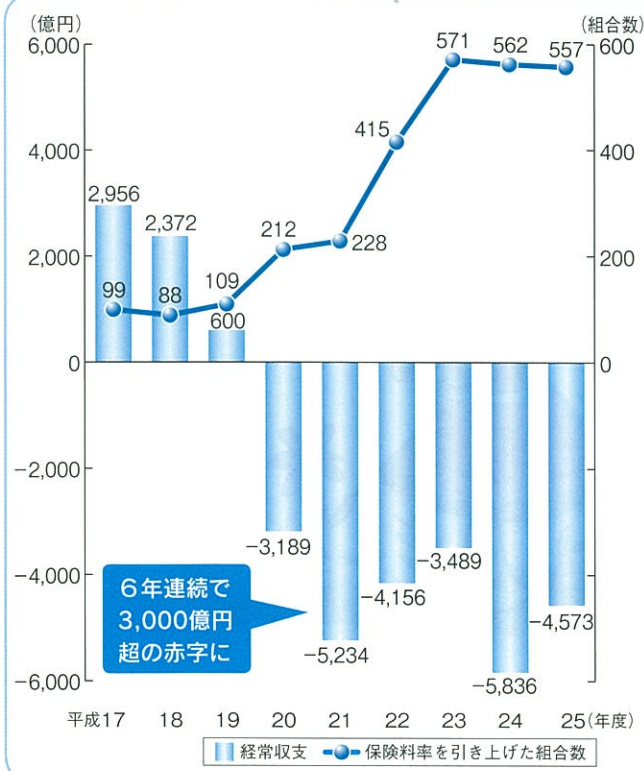
健保組合は自主的に定めた比較的安い保険料率で運営、それぞれの健保組合の実情に沿った独自の保健事業を積極的に実施することで、医療費の適正化をはじめ被保険者やそのご家族の健康の維持・増進に努めています。

## 追い込まれる健保の財政状況

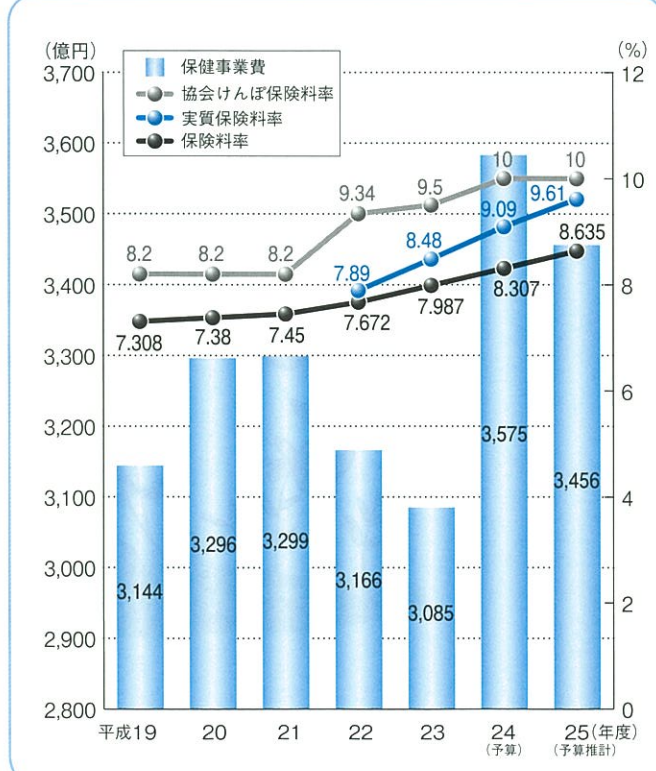
健保連が発表した「平成25年度健保組合予算早期集計の概要」では、6年連続で3,000億円を超える赤字となり、全健保組合の8割を超える組合が赤字となっています（表1）。

ここ数年、多くの健保組合が保険料率を引き上げており、平成25年度の平均保険料率は8.635%となりましたが、赤字を出さないように収支の均衡を図った実質保険料率となると9.61%となり、協会けんぽの平均保険料率の10.0%に接近してきています（表2）。

（表1）経常収支状況と保険料率を引き上げた組合数の推移



（表2）保健事業費と保険料率、実質保険料率、協会けんぽ保険料率の推移



## 厳しいからこそ頑張っています！ 皆様の健康維持・増進のための保健事業を推進

財政悪化の主要因は、毎年増加する高齢者医療制度への支援として国へ払う「納付金」で、保険料収入の約50%を占めています。しかし、これは健保組合の運営努力で削減できる性格のものではありません。

そのため、健保組合ではそれ以外の部分で支出を見直し、財政の確保に努めるとともに、皆様の健康維持・増進のための保健事業を推進しています。

全国の健保組合の保健事業費は保険料収入の約5%と少ないながらも、毎年3,000億円を超える費用をかけて保健事業を推進し（表2）、厳しい財政事情の中でもこの予算を減らすことなく積極的に取り組んでいます。とくに特定健診を含む健診事業の推進を中心に、疾病予防に力を入れることで、皆様の健康管理をサポートし健康な生活を維持・増進していただくとともに、医療費の適減・適正化をめざしています。

## 健診を健康管理にじょうずに活かしましょう！

### ① 健診結果は 経年変化をチェック

検査値の正常・異常を見るだけでなく、前年度との比較で、見えない体の変化を知ることができます。数値の変化が大ききときは、たとえ正常値内でも要注意！



### ② 気になる結果は、 生活習慣改善で病気予防

気になる結果があれば放置せず、生活習慣改善のきっかけとしましょう。病気になる前ならば生活習慣改善で正常値にもどすことができます。



### ③ 異常値があっても 早期治療で重症化予防

たとえ異常値が見つかったとしても、早期治療すれば重症化を防ぎ、体も医療費も負担が少なくなります。



## 豆知識

会社員は、次の2つのうちいずれかの医療保険に加入することになります。

### ■ 協会けんぽ (全国健康保険協会)

健保組合をもたない企業や健保組合を解散した企業で働く従業員やその家族が加入する健康保険制度。都道府県ごとに運営され、保険料率も異なる。

### ■ 健保組合

常時700人以上従業員がいる事業所および、同種・同業で3,000人以上従業員が集まる事業所が国の認可を得て運営。

### ■ 健保組合加入者のメリット

1. 自主的に保険料率、負担割合が設定できる(協会けんぽより低い料率を維持)
2. 病気やけがをしても、少ない自己負担で医療が受けられる
3. 健康維持のために、さまざまな事業を実施